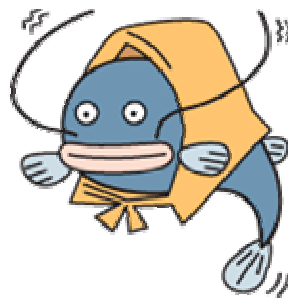


緊急地震速報 なまずきん

マンスリー レポート
2008年9月号



発行元 株式会社 ハレックス



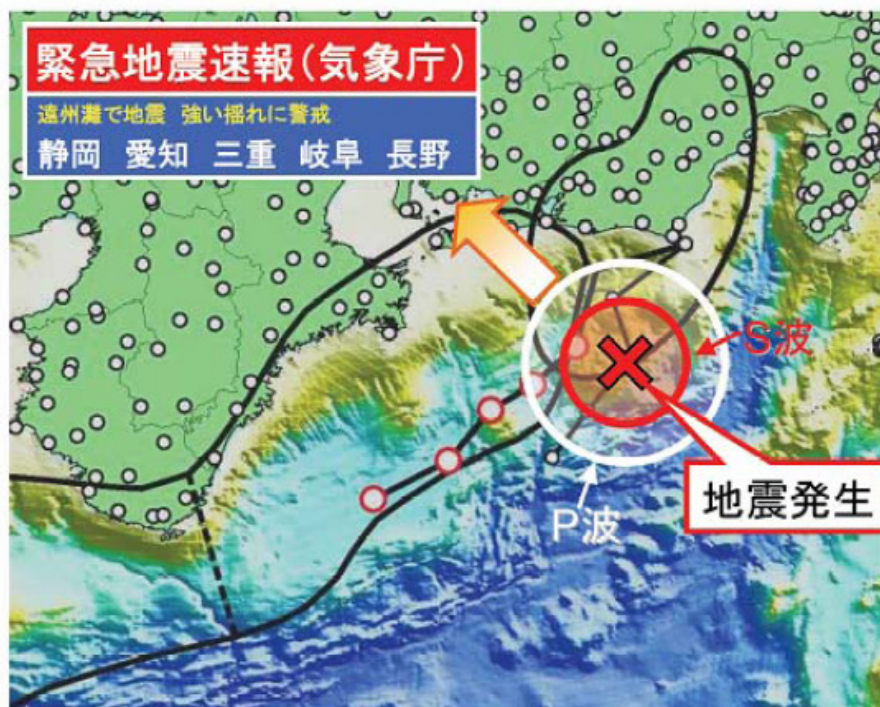
気象庁、東海・東南海沖に新たに整備した 「ケーブル式常時海底地震観測システム」の データ運用を開始

気象庁は、東海地震・東南海地震の想定震源域における地震活動の詳細把握、緊急地震速報での地震発生早期検知・地震動予測精度向上等を目的として、平成16年度から海洋調査を含めて5カ年計画で新たなケーブル式常時海底地震観測システムの整備を行ってきました。

今年7月末にシステムの動作確認を終え、8月1日には本庁へのデータ伝送を開始し、引き続き、センサー設置の安定状態確認のためのデータモ

ニターを実施してきましたが、この度、観測データの点検を終え、震源決定精度向上や検知能力向上の見通しが得られたことから、当該システムの地震データの利用が可能となりました。

このことから地震監視業務での運用を10月1日から開始します。また、パラメータの調整等を行い、緊急地震速報での利用に向けた準備を進めるとしています。



P波は、
S波より
速く、
振幅小

<http://www.jma.go.jp/jma/press/0809/29b/obs.html> 気象庁より

～～～ なまずきんの働き (2008年8月) ～～～

【発信数概要】

緊急地震速報（予報）が45個の地震に対し発信され、総数は256通でした。平成18年8月に先行運用が始まってからの月平均データと比較し

ますと、地震数、発信数とも8割程度とやや少なめでした。

また、推定震度4以上と報じた地震数も、6個と平均数7.6個に比べてやや少なめでした。

震度4以上を発信または観測した地震(2008年8月)

日	時分	地域名	深さ (km)	マグニ チュード	速報 発信数	速報最大震度 (最終報震度)	観測最大震度 (地点数)
02	13:03	奄美大島近海	63	M5.1	9	4(2)	2(4)
08	12:57	神奈川県東部	30	M4.6	6	4(4)	4(4)
20	15:13	茨城県南部	45	M4.6	9	4(4)	4(4)
22	20:00	茨城県北部	56	M5.2	7	4(4)	4(70)
25	06:56	新島・神津島近海	8	M3.0	7	4(4)	3(1)
30	18:28	福井県嶺南	15	M4.2	9	4(4)	3(5)

緊急地震速報で最大震度が3と推定された地震(2008年8月)

日	時分	地域名	深さ (km)	マグニ チュード	日	時分	地域名	深さ (km)	マグニ チュード
04	19:25	沖縄本島北西沖	11	M5.4	09	09:54	浦河沖	65	M4.5
05	14:39	宮古島近海	53	M4.2	09	20:54	沖縄本島近海	17	M5.2
06	06:26	兵庫県南東部	13	M3.9	14	20:11	北海道東方沖	63	M5.4
07	06:13	千葉県東方沖	42	M4.3	22	15:02	岩手県内陸南部	10	M4.1
07	22:15	奄美大島近海	21	M4.0	24	05:45	紀伊水道	45	M4.3
08	04:35	福井県嶺南	15	M4.2	24	09:26	種子島近海	26	M4.5
09	00:53	青森県東方沖	51	M5.4	31	14:33	福井県嶺北	7	M3.8